

## 『魅せる』『伝わる』色彩コミュニケーション!!

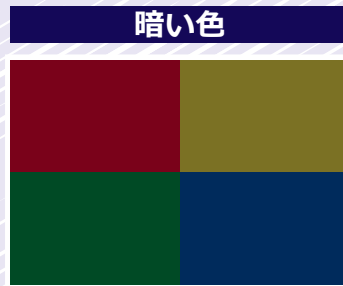
### 明るさで、色の硬さも変わる!?

カラコミュVol.10では、暖色、寒色を使った色に影響される心理・錯覚についてお伝えしました。そこで今回は明るい色、暗い色が与える印象・心理的影響についてご紹介していきたいと思ひます!

色の心理効果として、**明度が低い**(暗い)色ほど**硬い印象**が強まり、**明度が高くなる**(明るい)と**柔らかい印象**になります。また、暖色と寒色で比べると、暖色のほうが少し柔らかく、寒色のほうがやや硬い印象になります。例えば、ベビー用品にはよくベビーピンクやベビーブルーといった、明度が高く薄めの色を使っていますよね。この様な色を使う事で、ベビー用品に対して「赤ちゃんをやさしく包み込む」というイメージを持たせています。商品を手にする時、私たちも自然と優しく温かい印象を受けているのではないのでしょうか?



優しい・かわいい・  
柔らかいイメージ



クール・モダン・  
硬いイメージ



赤ちゃんらしい、可愛い  
雰囲気のベビー服。  
暗い色の物って  
見かけませんよね。



ベビー用品だけでなく、他にも様々な所で色の心理効果は活用できます。一番身近な所でいうと、服を選ぶ時です。穏やかさや親しみやすさをアピールしたい時は暖色系の柔らかい色、堅実さや知的に見せたいときは紺や濃いグレーの硬い色を使って服をコーディネートすることで、自分自身の印象を変化させられます。色味によるイメージ以外にも、上半身に明るい色・下半身に暗い色を合わせると、スッキリとしてバランスが良く、安定感を与えます。逆に上半身に暗い色・下半身に明るい色を合わせると躍動感が出て、活動的でスポーティーな印象を与えます。

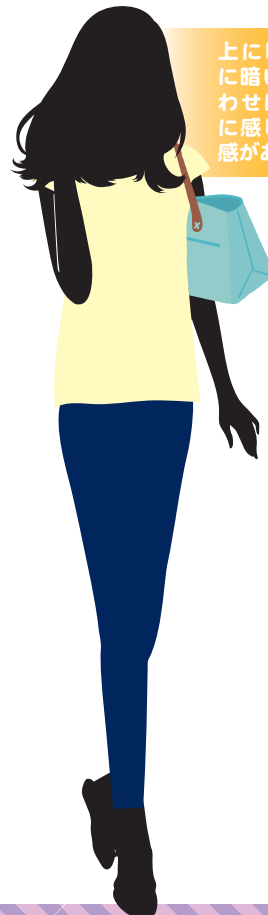
真面目で仕事が  
出来そうな雰囲気。  
安心して仕事が  
任せられそう!



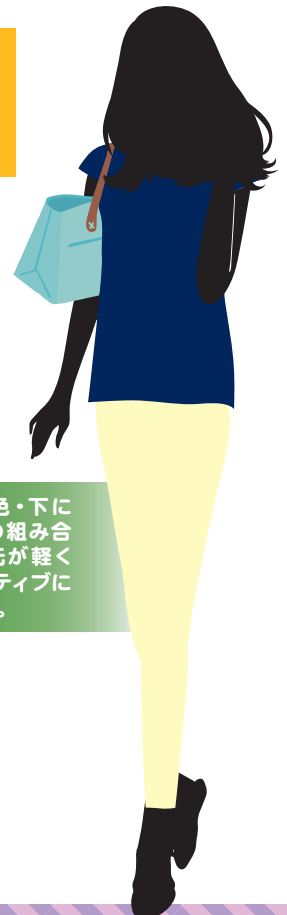
明るくて  
気さくな雰囲気。  
何でも気軽に  
話ができそう!



上に明るい色・下  
に暗い色の組み合  
わせは、重心が下  
に感じられて安定  
感がある。



上に暗い色・下に  
明るい色の組み合  
わせは足元が軽く  
見え、アクティブに  
感じられる。



# デザインの種類

今回のテーマ：  
「紙媒体にも柔・硬イメージを！」

服の色や身に付ける物の色でその人自身の印象を変えられるのと同様に、印刷物にも色によって思い通りのイメージを付けることができます。



利用者さんに「安心できる・親身になってくれる介護士たちが居る」と思ってもらえるよう、もっと穏やかで優しく見えるチラシを作りたいわ。



これでも悪くないけど、演奏会の雰囲気に合わせたいな。上質で落ち着いた雰囲気の演奏会であることを伝えたい!



全体の色味を明るい色にして、柔らかく温かな雰囲気のあるチラシに!!



第八回  
定期演奏会

全体の色味が暗いと、重厚感や落ち着いた感じかして、演奏会のイメージにピッタリ!



伝えたい事が明確でなくても、「柔らかい」「硬い」どちらのイメージにしたいかという部分に気を付けて色の明るさを考えると、印刷物の持つ雰囲気が大きく変化して想いも伝わりやすくなりますよ!

## イロイロ雑学

### 帽子の色で顔色が変わる?

下の4つのイラストを見比べてみてください。それぞれの顔の色はどの様に見えるでしょうか？顔はすべて同じ色なのですが、被っている帽子と服の色によって顔色が違って見えませんか？



- ・黒→明度対比により白く見える
- ・ライトグレイ→明度対比により顔色が暗く見える
- ・赤系→色相対比により顔色が黄みがかって見える
- ・オレンジ系→顔色よりも鮮やかなオレンジ系は、顔がくすんで見える

このような対比の効果を知っていると、自分自身の表現に役立てることができそうですね。

色彩を使った印刷物で、より良いコミュニケーションを!

次回も

Let's カラコミュ!!